

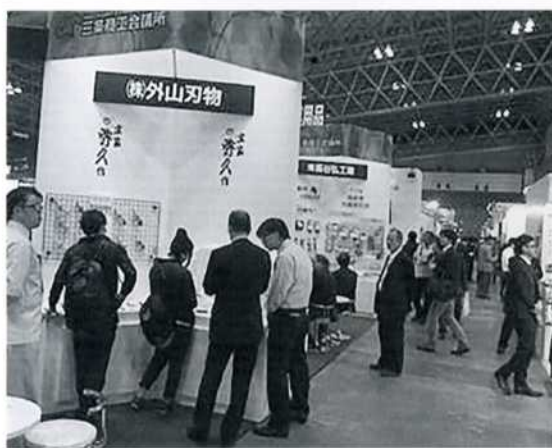
第5回国際道工具・作業用品EXPO（ツールジャパン） 工具に特化した専門展示会に最新機器が登場

第5回国際道工具・作業用品EXPO（通称・ツールジャパン）が10月14日から16日までの3日間、千葉県千葉市美浜区の幕張メッセで開催された。

国際道工具・作業用品EXPOは農業及び園芸関連の作業道具や専門工具を集めた展示会。今回は過去最



多彩な道具類が出品



和鉄などの高級刃物も並ぶ

多220社が出展し、特許取得済みや特許出願中の商品が数多く出品された。出展企業は作業工具、大道具、農林用品などのメーカーであり、特定の刃物産地も出展している。この展示会は第12回国際フラワーEXPO（IFEX）、第9回国際ガーデンEXPO（GARDEX）、第

5回国際農業資材EXPO、第2回国際世代農業EXPOが同時開催となっている。3日間での来場者数は5展合計で約4万3000人。

会場内では最新の工具に関する情報を発信。日立工機は電動工具類を中心に展示物を構成。コードレスのインパクトドライバ「WH18DDL」は業界初の打撃構造であるトリプルハンマーを採用。打撃箇所を従来の2箇所から3箇所にすることで、ハンマの爪が1回転に3打撃の小刻みな打撃をし、振動を低減。ネジを締める速度が増し、作業性を向上させている。伝統的な刃物産地である三条商工会議所では手道具の刃物類を出品。職人のハンドメイドによる和鉄、鉋などの高級刃物の機能美を訴えた。同じく刃物産地である三木市からは地場ブランドである三木金物をアピール。天寿刃物本舗の

鋸シリーズやセフテーター工業のチップソー「神業」など、加工性能に優れた製品を用意した。

電動工具メーカーのマキタは集塵機、充電式のインパクトドライバ、電動チェーンソーなどのツールを提案。ハンディータイプの小型工具の利便性を伝えた。新宮商行は木材関係の塗料や木を燃料としたストーブなどを実物出品。木材向けの塗料では、世界最大の塗料メーカーであるPPGインダストリーズ社が製造する「オリンピックマキシマム」の水性木材用塗料を紹介。無垢材用のソリッド（塗りつぶしタイプ）やセミトランスパレント（半透明タイプ）から幅広い選択ができる点特徴。薪ストーブはデンマークの王室でも使用されているモルソー社のストーブを数種類出品。環境に配慮したクリーンエネルギーの暖房を提案した。ナニワ研磨工業は各種の刃物を研ぐ砥石「剛研」を展示。木工用から農林用まで刃物の維持方法について説明した。

今回の国際道工具・作業用品EXPOは2016年10月12日から今回と同じく幕張メッセを会場として開催される予定。